

# P・M・Aクラブ

<http://shiotafumio.com>

✉ [ptcle@giga.ocn.ne.jp](mailto:ptcle@giga.ocn.ne.jp)

## しおた文男後援会

発行日/平成18年12月  
住所/築上郡築上町大字椎田1671-1  
発行責任者/高島 虎止  
TEL/0930-57-5555

### Vol.8



**感謝の気持ちを忘れず  
一生懸命頑張ります!**

お気軽に事務所へお立ち寄り下さい

☎ ふれあいコール 0930-57-5555

後援会事務所にて

ごあいさつ

しおた文男



いよいよ今年も残り少なくなりましては、皆様方にとりましては、私にとりましては、合併により旧椎田町議から新町の築上町の町議として議員活動を続けていることが今年の大きな出来事のひとつです。まさに、歴史に残るであろう時代の節目に議員として活動できることは、真に光栄なことであると思います。

それと同時に町議としての使命感や責任感を果たす事の大切さも十分に認識しなければと日々感じています。

合併後の問題点も色々あります。とりわけ旧2町の垣根が旧態依然として残っていることや、合併前の行政ミスが露呈したりとか問題は山積しています。

議員活動の範囲も合併により、広くなり特に築城の皆様方と接する機会も多くなり、行政に対するさまざまなご意見やご希望を聞くことができました。議会も12月に今年最後の定例議会が開かれます。先般の9月議会におきまして詳細は議員活動報告をご覧いただくとして、行政サービスのうちで児童扶養手当の更新手続において土日の窓口受付の実現を検討してもらうということ、町長からの回答をもらいました。来年はいよいよ合併後、初の議員選挙の年です。私にとりましては議員としての資質を問われる2期目の選挙となるわけですが、議員定数も変わり有権者も増え過去の選挙とは違った結果が予想されます。今後は来年7月実施の選挙に向かって初心を忘れず、何事にも一生懸命にとり組んでまいります。なにとぞ皆様の旧来にまさる温かいご支援をお願い申し上げます。共々皆様にとりまして来年がより良き年でありますよう祈念いたします。

拝

# しおた文男の議員活動報告

平成18年9月19日(火)

## 一般質問

### 行政サービスと地域の係わりについて

(塩田文男)

平成の大合併で、全国の市町村の数が、3,300から1,800に減少し、住民サービスのあり方や、行政満足度について、いろいろな議論がされておりますが、合併の基本は、合併をしなければ、市町村の財政が厳しくなり、住民サービスが低下する結果となり、合併が必要であるという理由で合併され、私たち築上町においても、しかりではないかと思えます。築上町として合併し、従来の椎田町、築城町の比較しても、住民サービスや、行政満足度については、どのように変化したのか。本来なら、各職員も増員され、的確な対応がなされなければなりません。

窓口の対応がよくない。役場が遠くに感じられるなど、合併してよくなったというような話を聞きます。

両町のよいところは、多いに取り入れ、改善すべきところについては改善し、本当に合併してよくなったと言われる町づくりに、全力で取り組んでいただきたいと思いますが、依然、行政窓口の対応につきまして、町長は職員に対して、以前「おはようございます」と言いなさいと厳しく指導していると、保育園児並みのようなことを言われておりますが、住民の方々の不満は、満ちあふれております。

またすべて職員の対応が悪いわけではなく、ということもつけ加えておきますが、まず、窓口の対応について、町長は、職員がどのような対応であるべきか、また職員は住民の何であるべきかの考えをお尋ねしたいと思います。

(新川町長)

職員は、住民の広告塔という形で、仕事をやってるわけでございませぬし、これは当然、親切な対応するべきだろうと思っております。それがたまたま、不親切だったとか、そういうことで、いろんな苦情まいります。塩日議員の

ところにもまいつてるといふんで、即座にどこの課のどういううたれだれがということまで、もし教えてもらえたらならば、そのとくにせひ私に直接でもいいし、秘書課でもいいし、そういうことで対応してまいらなきやというところで行っておりますんで、ぜひ町長に電話してくれと。そういうことでいろいろ対応ございますけれど、極力、冷静に親切に受けとめをするようにという指導しておりますし、電話に出るときは必ず何々課のだけれどというふうなことで自分の名前を告げて電話に出なさいと。私も見回っているところでは、それはある程度守られてるようございませぬし、そういうことでぜひ、塩田議員そういう話があったときは通報いただきたいと思えます。

(塩田文男)

職員は広告塔だという形で言われ私のところに来てくださいます。この話はよく聞きますが、町の執行部は対応と対策を講じていかなければならないと思えますが、先ほど言うたように、直接、私にだれだれが悪いというような形で、なかなか告げ口のようなことはできない。じゃおまえ、それでは余りにも無責任じゃないかというところになります。そうじゃなくて、今の現状の職員の対応というものが、余りにもずさん

過ぎて、本当に守秘義務があつて、守秘義務があるのかというような状況で、それさえも言はずらい。民間でも、内部通報制度というものがありません。内部、外部からのそういった制度もいろいろと参考にし、先ほど町長は、この公益通報制度を条例化に向けて検討するというような形も言われてましたんでひとつ、私なりの例として上げていきたいと思えます。たび重なるこの本会議で、この職員の対応の悪さというところで、毎回この一般質問に出るわけですが、そういったものを、築上町の広報で、一度明示して、そして即座に悪い対応、本庁、支所、そして関係窓口、例えば中央公民館等です。そういった行政の窓口で、対応が悪い職員がおりましたら、この番号の担当どこどこに電話をしてほしいという形で、やっていただきたいなと思えます。そういったホットラインを作つて、職員の対応の悪いまた、度々そういった名前が出る職員については人事を含めいろいろ処分するなど、一つのルールをつくつていくというような考えは、町長にはありますか。

(新川町長)

職員の対応という形の中で、法に違反した者は、これは当然処分します。そして、広報に載せろというこ

とは、これは当然、載せてもやさかでございますし、何か、いわゆる職員に不満があつた場合は、町長室のファックス等も、前は書いておりましたけど、最近、ファックスが来なくなりまして、ファックスで、町長室まで送つてほしいとかいうことで、それは当然、広報の方で、町民の皆さんにお知らせするということはやぶさかでもございませぬ。

(塩田文男)

窓口のもう一つ提案、質問したいと思えます。

児童扶養手当の更新手続というのが、毎年8月1日から8月末までの1カ月間が扶養手当の更新手続期間と聞いております。

母子家庭のお母さんが、更新手続で、また本人が行かないといけないらしくて、葉書と印鑑を持っていくということですが、これにつきまして、母子家庭のお母さん方は、家庭を両立し、ほぼ働いている方ばかりではないかと思えます。

その中で、土日だけが休みの方もおれば、交代制の方もおられるでしょうが、そういった窓口の1カ月間だけでも、例えば曜日を決めるなど、また土日とか、また時間外とかいうような、何らかのそういった手続の受付窓口の開設をしてほしいという声を聞いております。

またその窓口の対応というのが、これも引つかかるわけですが、印鑑を持って行って、やはり今年度の支給額の手続にいくという形で、なんかこうみじめな思いをさせられてしまうというような対応があつていふことを、耳にして質問させてもらつてますが、そういった窓口の対応、時間外対応も検討をしてもらうようなことは、町長、お考えないでしょうか。

(新川町長)

すべて24時間、役場は開けておくのが、これはやっぱり好ましくもわかりませんけれども、土曜日という形であれば、今、たしか住民票の発行の業務は管理職で行つておりますが、そこで、受付はしてもいいんじゃないかなと思えますけれど、総合的な観点から、受付業務ぐらいいいかもわかりませんが、いろいろな業務がございますし、やっぱり土日しか来れないという方もおります社会通年上、それは今、土日が休みだということとで、いろんな検討、今からしていかなければいかん時期に来てるんじゃないかなと思えますけれど、そこそこ、一つの業務だけというわけにもいきませんし、検討させてもらいたいと思います。

# スナツプ

## しおた文男の 地域ふれあい



7月29日 社会就労センター  
ワークランド・こすもす 夏祭り



10月9日  
障害者支援施設  
月の輪学園成人部 運動会



9月議会一般質問



10月8日  
第1回築上町町民体育祭

### 編集後記

旧稚田町と築城の2町の間の垣根をとるためには色々な問題点がありますが旧町時代のお祭りなどの年間行事も合併を機に新たに見直し築上町民が一体となって交流できる新たなイベントも考えていいのではないでしょう。町民体育祭やシャンシャン祭りが先日開催されましたが、ふとそんな思いがしました。(S)

# 今昔・中津街道

一心不乱

子供の頃、小中学校時代やまた高校受験前など皆さんも体験があることと思えますが、一つの事に集中して目的を達成できたのではないかと思います。執念と断念の裏返しとも言えるのでしょうか？集中力・執念・パワーをもって決して諦めない。そして人生いくつになっても何年かかっても目的の為に決して断念しない。私も類語の一生懸命の言葉を掲げ来年に向けて行動致します。



征矢野半弥氏銅像(鹿の戸山公園)

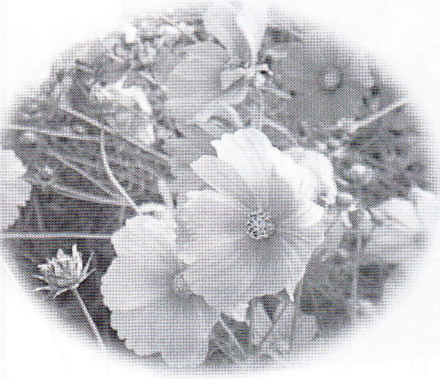
## 偉人・征矢野半弥氏

「天高く地にコスモスの花」  
福岡県浮羽郡吉井町出身で、コスモスを大変好み、信念の言論人と言われた菊竹六鼓氏がよく口にしていた言葉だそうです。その菊竹六鼓氏が福岡日日新聞の社長だった征矢野半弥から「珍しい西洋の花だよ」と教えられていた花の種が、今では地元でコスモス街道として人々を和ませているようです。景色は彼岸花から秋桜(コスモス)

八八四年二十八歳の時に補欠選挙にて京都郡から県議に当選。そして明治二十三年(一八九〇年)日本初の総選挙が実施された時、福岡県八区(現在の行橋と豊前市周辺)で伊藤博文氏の娘婿の末松謙澄氏と熾烈に戦ったのが築上町(旧・築城町)の征矢野半弥氏その人でした。結果は当時の政府のドン伊藤博文氏の後ろ盾を持ったエリート官僚の末松謙澄氏が地域で信望も厚い士族出身の征矢野半弥氏を破って当選。

政治の世界も小泉政権から安倍政権、五十二歳の安倍晋三氏が総理に決まり、戦後生まれで最年少総理の誕生。なお歴代総理最年少は安倍氏と同郷の初代内閣総理大臣の「伊藤博文氏」です。時代は溯って一八八四年二十八歳の時に補欠選挙にて京都郡から県議に当選。そして明治二十三年(一八九〇年)日本初の総選挙が実施された時、福岡県八区(現在の行橋と豊前市周辺)で伊藤博文氏の娘婿の末松謙澄氏と熾烈に戦ったのが築上町(旧・築城町)の征矢野半弥氏その人でした。結果は当時の政府のドン伊藤博文氏の後ろ盾を持ったエリート官僚の末松謙澄氏が地域で信望も厚い士族出身の征矢野半弥氏を破って当選。

その後、征矢野半弥氏も第三回総選挙で初当選、第五回から連続当選を重ね第十回総選挙で引退するまで六回の当選を果したそうです。ここで征矢野半弥氏について少し記すと安政四年(一八五七年)八月五日、城下町小倉に生まれ、父は小倉藩士。慶応二年(一八六六年)、長州との戦いに敗れた小倉藩小笠原家は小倉城に火をかけて敗走、香春、ついで豊津へと移った。このため、豊津町・築城町には旧藩士が多く移り住む事になったようです。征矢野家の屋敷は鹿の戸山の麓にあり、征矢野半弥はここで少年期を過ごし、はじめは小倉の藩校思永館、次にこれを改称した豊津の育徳館に学ぶ。学業優秀な少年で、選ばれて佐賀藩の藩校にも学ぶ。彼の生涯では西日本新聞の前身である福岡日日新聞の社長を務め、八幡製鉄所(現・新日鉄)や九州帝大(現・九州



大学)誘致を行った事などが特筆されるようです。現在、赤幡地区の「鹿の戸山」公園に銅像がありますが、一九三三年(昭和八年)に香楽地区に最初建設されたものの、戦時中に供出され台座のみ残ったそうです。以後、一九七一年(昭和四十六年)に征矢野半弥銅像再建委員会が設けられ各界の協力をえて旧宅に近い鹿の戸山公園に復元されました。少年期を過ごしたこの築上町に、彼は何かを感じ、何を残していったかだったのでしょか。古き時代も今の時代も人を尊重し敬う心を大切にして生きて行きたいものであります。